

令 和 3 年 度

保健医療学部

学校推薦型選抜入学試験

小 論 文 問 題

注 意 事 項

1. 配布物は、問題用紙（1枚）、小論文用紙（1枚）、下書き用紙（1枚）です。
2. 小論文用紙の表紙の受験番号記入欄に受験番号を、氏名記入欄に氏名を記入してください。
3. 解答は所定の小論文用紙に記入してください。
4. 下書き用紙と問題用紙は採点には全く関係ありませんので、余白を自由に使ってかまいません。
5. 小論文用紙は、横書きで、アルファベットと数字は、2文字を1マスに記入してください。
6. 試験時間は12時00分から13時00分までです。
7. 途中退場は許可しません。
8. 試験中に緊急事態が生じた場合は、挙手し監督者の指示に従ってください。
9. 試験終了後は小論文用紙のみ提出してください。この問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

【資料】

冥きより　冥き道にぞ　入りぬべき　はるかに照らせ　山の端の月

心の迷いを仏教の教えで救ってほしいと書写山の性空上人に送った和泉式部の和歌である。

迷いの多くは、いやおそらくは全てが、見えないことが原因である。生死を含めて未来は見えない。また人の心は見えない。他人どころか自分の心さえなかなか見えない。未来については詩人のポール・ヴァレリーが見事に言い表している。「湖に浮かべたボートを漕ぐように、人は後ろ向きに未来へ入っていく」。従って未来を推測するためには、唯一垣間見える断片的な現在を眺めながら、少しほは見えるようになっている過去から学ばなくてはいけない。英国の歴史学者 E.H.カーは「歴史とは、現在と過去との絶えざる会話である」と言っている。

科学は、通常の視力では見えない物質を次第に見えるようにしてきた。放射線は、そのエネルギーを光に変えることで見えるようになった。化学物質も、クロマトグラフィーや質量分析器で検出できるようになった。病原微生物も、光学顕微鏡や電子顕微鏡、培養技術などで見えるようになった。遺伝子でさえ、DNA や RNA の塩基配列がシーケンサーで見えるようになった。病原体に対抗する生体の免疫反応も、抗体検出で見えるようになった。

そのように次第に恵まれてきた現代にあってさえも、科学情報が迅速に正しく分かりやすく、そして隠さないで伝えられない限り、心の不安が頭をもたげ、人々は不安・恐怖にさいなまれる。

その恐怖は、火山爆発・地震・津波・台風などの自然災害、気候変動、原子力発電所の事故、サリン事件、新型コロナウイルスなどの新興感染症、テロ、戦争、経済恐慌・不況などで露わになる。それを少しでも減らせるのが、正しい知識・正しい情報である。マスメディアは人々の不安を減らすべく期待してきた。しかし現実には、正しい情報が発信されず逆に不安を搔き立てていることが多い。

この稿では、不安・恐怖を減らすための情報の在り方について、そして我々が今その渦中にいる新型コロナウイルス感染症 COVID-19 について、歴史から学んでおきたい。

(以下略)

論座：政治でなく科学の視点を　　感染症はリスク、備えを常に

加藤茂孝　元国立感染症研究所室長 2020/06/24)

<https://webronza.asahi.com/journalism/articles/2020061600005.html>

【設問】

上記の記述を読んで、「歴史と科学」の関連性について、自分の考えを述べなさい。

(500 字以上 600 字以内)